

10月11日(土)・12日(日) 憧れの舞台でプレーする喜び



▲熱戦が繰り広げられました

◀広野町野球スポーツ少年団と大野田ホエールズのメンバー

広野野球スポーツ少年団と仙台大野田ホエールズの合同合宿が仙台市で行われ、今年で第6回目を迎えました。大野田ホエールズは鯨岡進さん(広野町出身)が球団代表を務める仙台でも屈指の強豪チームです。1日目は仙台臨空野球場で交流戦を2試合行いました。

その夜、選手、スタッフ、保護者同士が食事を取りながら交流を深めました。そんな中、鯨岡さんから明日の試合会場は東北楽天イーグルスの本拠地クリネックススタジアム宮城で行うことが告げられ一同驚きと喜びの出来事となりました。

2日目はシニアチームの練習風景を見学したあとクリネックススタジアム宮城へ移動しました。到着後、球場内を見学し、練習をして実際に試合をしました。実際にプロが使用するグラウンドに選手たちは感動し、喜びをかみしめながらプレーしていました。試合は広野スポーツ少年団が勝利となりました。合宿に参加したみなさんが感動の中すばらしい思い出を作ることが出来ました。

来年は広野スポーツ少年団の20周年記念大会にあわせて大野田ホエールズが広野町に来町する予定です。

10月19日(日) 稲刈りに挑戦 JFAアカデミー



◀刈った稲をそろえる生徒

JFAアカデミーの生徒による稲刈り体験が行われました。5月に田植えした稲が見事に実り収穫の時期を迎えました。指導は田植え体験から引き続き、猪狩新一郎さん(下北迫)にお世話になりました。

はじめは慣れない作業にとまどっていた生徒たちも時間が経つにつれコツをつかみ、稲を丁寧に刈り取っていました。稲を束にし穂の向きに注意しながらはせ木に積み重ねていました。

10月 ホクホクのサツマイモをほおぼる



▶保育所の様子

毎年恒例のサツマイモ掘りが、広野幼稚園(20日)と広野保育所(28日)で行われました。収穫されたイモは、焼いてみんなで食べました。子どもたちは、できたてホクホクのサツマイモを口いっぱいほおぼっていました。



▲模擬議会を体験した議員役の生徒のみなさん

は、町民などの代表による実行委員会が主体的に検討しているが、今後は、皆さんのような若い人たちにも、いろいろなアイデアをだしていただき、更人が集まるイベントにしていきたい。

鈴木 貴羅 議員

設備の充実について

質問 高齢化が進んできていることもあり、バリアフリーをもっと浸透させてほしい。お年寄りの方が安心して外を歩くことができるように手すりを増やしてはどうか。

町長 バリアフリーの考えは、道路整備においても重要な要素であり、現在、町道には手摺を設置していないが、必要な箇所があれば今後検討していきたい。

質問 時々、自転車の盗難があると聞いています。監視カメラを設置するなどの工夫をしてみているかどうか。

町長 現在、町防犯指導隊の方々の御協力をいただき、盗難防止に努めているが、警察署などのアドバイスをいただきながら、監視カメラの設置も含め、様々な対策を検討していきたい。

宮本 雅俊 議員

広野町の施設について

質問 コミュニティセンターのような施設があることによ

て、コンサートや新たなイベントが実施できることで、活気に満ち溢れたすばらしい町になると思うが、そのような施設の設置を考えていただけませんか。

町長 財源確保に厳しさが増しているなか、町として、すぐに取り組まなければならぬ課題が山積しており、今のところコミュニティセンターの建設については、具体的な計画案は持っていない。イベントの実施については、現在ある公共施設を最大限に有効活用したい。

上野 雄斗 議員

町の特産品について

質問 他の市町村や都道府県にPRできる特産品をつくり、たくさんの方が自然豊かな広野町に足を運んでくれたり、広野町を知ってもらえるような取り組みをしてみているかどうか。

町長 現在、町で生産される農林産物や加工品等は非常に少ない状況だが、町の農業生産者や商工業者の方々にも積極的に参加していただき、広野町をPRできるような特産品やお土産の開発に取り組んでいきたい。

質問 特産品をPRするための物産センターなどの施設をつくることで周辺の市町村から来る人が増え、町がより発展するよう思うが、そのような施設をつくることは考えていないのか。

町長 現在、「ふるさと広野館」内に物産館、6号国道沿いに「農産物直売所」をオープンしているが、今後特産品の開発に積極的に取り組み、現在の施設を有効に活用し、多くの人が集える魅力ある施設に行きたいと考えている。

呉 大陸 議員

町の活性化について

質問 広野町に出店する店舗が増えることによって、たくさんの方が町を訪れ、町の活性化につながると思われるので、もっと広野町を他の市町村や都道府県にPRして欲しい。

町長 大型店舗の出店は難しいと考えられるので、町活性化のために、みなさんに地元商店街を利用して欲しい。また、町のPRはホームページへの掲載や観光施設でのパンフレット配布等積極的に行っている。

質問 企業が誘致されることによって広野町に住む人が増え、人口増加にもつながると思うがどうか。

町長 現在、景気の先行きが厳しい状況から新たな企業誘致は難しいと考えられるため、これまでに誘致した企業に対し工場増設のお願いをしている。